

教界ニュース

オピニオン ～教界から～

新潟青陵大学教授 碓井 真史



スマトラ沖地震で壁の崩れ落ちた学校に集まる子どもたち (写真提供=ワールド・ビジョン・ジャパン)

死者千人超 スマトラ沖地震

各救援団体が現地入り

インドネシア西部スマトラ沖で9月30日、マグニチュード7.6の地震が発生し、千人を超える死者を出したインドネシア・スマトラ沖地震。キリスト教救援団体は現地で支援活動を行い、緊急援助募金を呼びかけた。ワールド・ビジョン(WV)の緊急スタッフは10月1日、最も震源地に近く被害が大きい西スマトラ州バタンに入り、現地調査を開始した。スタッフによると、被災地は停電が続き、銀行、商店街は麻痺状態という。WVは現在、水、食料、テント、毛布などの支援物資の配布を行っている。また、被災した子どもたちのケア、身体的ニーズを満たすためのチャイルド・フレンド・スペースをスマトラ島に13か所開設する予定。募金窓口郵便振替00130・6254059、特定非営利法人ワールド・ビジョン・ジャパン(記入欄に「スマトラ沖地震緊急援助募金」と明記)。日本国際飢餓対策機構(JICA)はJICAハイランドネシアを通じ、パタラ市北部のパリアマン地区で緊急支援を行っている。この地域は支援が十分に届いておらず、人々は高い丘に避難し、食料難に陥っている状態だ。現在、がれき撤去作業に携わる住民に食料を渡す支援を行うと共に、NGO「ウォータ・ミッション・インターナショナル」の呼びかけに応え、緊急援助募金を開始した。送金先郵便振替00150・2593699、日本基督教団社会委員会は、スマトラ沖地震とインド・フィリピンの水害に対し、すでに被災者救援活動を始めたACTインターナショナルの呼びかけに応え、緊急援助募金を開始した。送金先郵便振替00150・2593699、日本基督教団社会委員会は「インドネシア緊急援助」と明記)。

10月11日付オピニオンを読んで

「札幌宣言」を1教会・1信徒の問題にすり替えは矮小化では?

私は71歳になります。70歳で牧師となり、牧師1年生です。10月11日付オピニオン「札幌宣言」を読み、思ったことがあります。「札幌宣言」では「沖縄宣言」を踏まえて、各分野で危機を乗り越える道筋として、「宣教協力の実現」を打ち出し、それをさらに深めて具体的に取組む決意を表した。そして、オピニオンはこう結論付けています。「この『宣言』を内実あるものにするか否かは、教会と私たち一人ひとりにかけている」と。私はこの最後の結びに力さの現実を見る思いなのです。最後に1教会の問題、1信徒の問題にすり替えられてしまうと、日本の悲劇があると思うのです。「札幌宣言」に参加した教会・教派がどのように理解し、どのように具体化するかを教会・教派の内実化の問題としてとらえ、きちんとプログラム化しなければ、たぶん大きなお祭り騒ぎで終わって、何も変わらないと思います。生生涯クリスチャンとして生きていく確かな人生プログラムを、教会は持つべきです。ある牧師が私に言いました。日本での伝道は本当に難しい。それは良い人が多いからだ。まことにそう思うのです。この良い人たちに福音を伝えるのは、本当に難しいことだと思ひます。他者の目を意識し、権威主義、建前でものを言う日本人をきちんと理解し、わずかに50万人、本心に非力な日本のキリスト教会としての現実を見て、そこからスタートだと考え、開拓に悪戦苦闘していませんか。(佐々木博二 幕張本郷クリスチャンコミュニティ牧師)

偶像につながる薬物依存の危険

先月、自宅のある市内で、末端価格3億円の覚せい剤が押収された。2年前には、個人的に一緒にしたこともある教育評論家の先生が大麻で逮捕された。あなたの町でも起きていないかもしれない。覚せい剤で逮捕され、二度と使わないと誓ったはずの人々の半分が、再び覚せい剤で逮捕されている。一度目は許してくれた家族や友人も、二度目には去っていく。彼らは仕事も人間関係も失い、生活しなければ薬が出ない機械を起す。精神症状や乱暴な行いが突然表れることもある。依存症者は、一生薬物から自由にはなれない。脳に直接作用する薬物には、私たちの良心も精神力も勝つことができない。私たちがみんな悩みを解決し、幸福をつかみたいと願っているはずなのに、人の心の弱さを薬物の危険性を知り、具体的な対策を練り、そして弱さを抱えた人間の罪人としての本質的問題と向き合っていない。オピニオンへのご意見はcs-edit@wlpn.or.jpへ

\* 「オピニオン」へのご意見はcs-edit@wlpn.or.jpへ